

## 研究協力のおお願い

この研究は、大阪医科薬科大学 研究倫理委員会にて審査され、研究機関の長の許可を受けたくうえで実施しております。ご理解・ご協力のほど、よろしくお願い致します。

大阪医科薬科大学 内科学 教室

### 記

<b>研究の名称</b>	神経炎症性疾患における血清・髄液所見の有用性の検討
<b>対象</b>	2011 年 1 月 1 日から 2026 年 12 月 31 日までの期間に本院に入院された患者さんの髄液検査データを研究に利用いたします。本学では、約 80 ~ 100 例を予定しています。
<b>研究期間</b>	研究実施許可日 ~ 2027 年 3 月 31 日
<b>試料・情報の利用 目的及び利用方法</b>	<p>利用目的：多発性硬化症や視神経脊髄炎などの神経炎症性疾患は、再発を繰り返しながら徐々に重度の機能障害を生じる疾患です。進行抑制のためには再発予防と急性増悪時の治療が重要ですが、病態に関しても未だ不明な点が多く、病勢評価や治療の強度、転換時期などに関する指針も定まっていません。</p> <p>本研究では神経炎症性疾患における血清・髄液所見の有用性を検討し、病勢評価やより良い治療マネジメントを明らかにすることを目的としています。</p> <p>利用方法：患者さんの情報を、当院の診療記録から収集し、抽出した情報を基に統計解析を行います。抽出する診療情報は、診療情報と同様に厳重に管理され、個人を特定できる情報が漏れることはありません。研究結果は、個人を特定できないように対処したうえで、学会や学術誌で発</p>

	<p>表される予定です。本研究は日常診療を行った後に情報をまとめる形で行われる研究（観察研究）ですので、参加することによる直接的な利益や不利益はありません。また、本研究へ参加することで、新たに発生する自己負担はありませんし、謝礼金などありません。</p> <p>対象者の方（あるいは代理人）の申し出により、他の対象者等の個人情報保護や研究の独創性の確保に支障がない範囲内で、研究に関する資料を入手や閲覧できますので、ご希望される際は、下記の問い合わせ窓口までご連絡ください。</p>
<p><b>利用し、又は提供する試料・情報の項目</b></p>	<p>情報：診療録より患者さんの臨床情報（疾患名、年齢、性別、重症度、神経学的所見など）、血液所見、髄液所見、画像所見（脊椎MRIなど）などを調査します。</p>
<p><b>研究者名</b></p> <p>【研究責任者】</p> <p>内科学 講師（准） 細川 隆史</p>	
<p><b>参加拒否の申し出について</b></p> <p>ご自身の診療情報を研究に利用させて頂くことに対する問い合わせ、参加拒否を申し出たい場合は、下記の連絡先までお願いいたします（対象者の代理人からの申し出も受付いたします）。</p> <p>参加拒否の申し出をされた場合は、研究の対象から削除し、研究利用をいたしません。しかしながら、研究結果が出た後の参加拒否の申し出については、研究の対象から削除することができかねますので、予めご了承ください。</p>	
<p>&lt;問い合わせ窓口&gt;</p> <p>【研究機関】</p> <p>〒569-8686 大阪府高槻市大学町2番7号</p> <p>大阪医科薬科大学 内科学（脳神経内科）</p> <p>担当者 細川 隆史</p>	

連絡先

072-683-1221 (代) 内線 6962

# 研究参加拒否書

大阪医科薬科大学 学長 殿  
大阪医科薬科大学病院 病院長 殿

大阪医科薬科大学  
担当者 細川 隆史 殿

課題名	神経炎症性疾患における血清・髄液所見の有用性の検討
-----	---------------------------

私は、上記研究への参加について検討した結果、研究参加を拒否いたします。

年 月 日 対象者 住所

氏名（自署）

ご本人が自署できない場合は、代諾者の方がご記入ください。

代諾者（続柄： ）

住所

氏名（自署）